

令和6年度事業報告

我が国の重大な課題である人口減少、少子高齢化は現在も進行中で、それに起因する労働人口の減少などを背景に、政府は「経済財政運営と改革の基本方針 2024 ～賃上げと投資がけん引する成長型経済の実現～」(いわゆる「骨太方針」)を令和6年6月21日に閣議決定している。デフレから完全脱却、成長型経済を実現させる千載一隅のチャンスと捉え、「賃上げを起点とした所得と生産性の向上」が移行のカギとし、二度とデフレに戻らせることなく、日本経済を成長型の新たなステージへと移行させていくこととしている。一方、異常ともいえる気候変動による自然災害の増加やウクライナ戦争の長期化と物価高騰も続いている。このような状況の中、日臨技は計画している事業を支障のない形で維持しながら、今後の支出と収入のバランスを保つことを念頭に、適切な会の運営に努めた。

日臨技の事業活動に関しては、

公益目的事業である臨床検査精度保証事業、臨床検査精度管理調査事業ともに滞りなく進め、精度管理責任者育成講習会においては、初級コース修了者向けに更新コースを新たに公開した。

学術・職能支援事業においては、臨地実習指導者講習会や厚生労働大臣指定講習会の開催、各種認定技師制度の運用などを継続し、また、都道府県技師会と連携しながら、災害が生じた際の対策に関する体制強化を進めた。

政策・渉外事業は、医療 DX 及び新興感染症に対する体制整備等に関連した要望をまとめ、厚生労働省をはじめ関係各所へ説明し、提出した。

組織強化・組織対策に関しては、行政が進める「医療 DX」に合わせ、限られた人的資源で生産性を向上させる新たな技術革新、デジタル技術などの活用で業務の効率化を目指した「臨床検査 DX」に取り組むべく、関連ワーキンググループを設置した。また、「会員とともに考え、会員とともに挑む」をテーマとして、今後の組織強化の方針に反映するため、全国を回りながら会員と会話する機会を設けた。さらには、組織体制や運営方法などにも繋がる「次世代人材育成プロジェクト」の検討を開始するとともに、日臨技の支部と都道府県技師会の連携をより強化するための人材育成の構築を開始した。

具体的には、令和6年度の事業について以下のように進めた。

1. 公益目的事業

～ 臨床検査精度保証事業／臨床検査精度管理調査事業 ～

1) 臨床検査精度保証事業

医療法等の一部を改正する法律（平成 29 年法律第 57 号）に基づき、令和 4 年度から立ち上げた品質保証施設認証制度を継続運営した。令和 5 年度審査は新制度での 3 回目の審査で、277 施設が認証を受けた。本制度は、法律に則った検査室運営と臨床検査の品質の正確性が審査され、臨床検査室全般 10 部門 4 分野にわたる認証範囲となっている。引き続き、当会実施の精度管理調査を受検しているすべての施設が受審するような価値ある認証制度になるようシステム等の改修を継続した。本認証が内外に認められるよう啓発活動を行った。また、「品質保証施設認証制度」及び「精度管理調査」と併せて、施設における内部精度管理を担う人材育成の事業化（研修制度）を検討した。また、サポート事業（相談窓口）や、精度管理責任者育成のための研修会制度（更新）の事業を検討するため、関連ワーキンググループを設置した。なお、併せて計画していた、都道府県技師会及び当会における外部精度管理事業を担える人材育成の事業化検討は情報収集の段階でいったん保留とした。

本事業では臨床検査データを均霑化（標準化）することが主目標であるが、政府が進める医療 DX を意識した方向転換の必要性もあり、医療 DX の進捗状況を常に把握した。

2018 年 10 月より e ラーニングを用いた「精度管理責任者育成講習会一初回コース」を日本医師会等の後援を得て実施してきた。既に 5,000 名を超える受講生と、2,500 名を超えるカリキュラム修了者を輩出してきた。当初の予定より公開が遅れたが、2024 年 6 月より初級コース修了者向けに更新コースを新たに公開した。

① 日臨技臨床検査精度管理サポート事業

「精度管理サポート事業（是正・改善・立入調査）検討 WG」に紐づく「精度管理責任者育成講習会 WG」及び「内部精度管理相談窓口 WG」を設置し事業運用に向けた役割について検討した。

② 品質保証施設認証制度の啓発と認証審査

2023（令和 5）年度審査 2024・2025 年度品質保証施設認証について、公益社団法人 日本臨床検査標準協議会(JCCLS)と連携して、認証審査を実施した結果、277 施設を新たに認証した。令和 4 年度審査に認証された 291 施設に加え、品質保証施設認証の総数は 568 施設となった。

③ 臨床検査値活用検討

検査値標準化事業については、基幹施設を中心とし精度管理事業を長年にわたり実施してきたが、一定以上の効果が得られたとして一旦終了し、今後の動向を見ながら、それぞれの検査項目について個別に対応することとした。政府が推し進めている医療 DX について、臨床検査がどのように関わるのか検討を始めた。

④ 臨床検査法及び検査値の標準化

政府が令和 4 年より推し進めている医療 DX（デジタルトランスフォーメーション）について、臨床検査値の標準化（JLAC10 から 11 への移行等コード）について関連団体と情報共有を図った。

2) 臨床検査精度管理調査事業

当会の精度管理調査は、昭和 40 (1965) 年に第 1 回臨床検査精度管理調査 (744 施設の参加) を実施してから約 60 年の歴史がある。全国規模外部精度管理調査として臨床検査分野の広範囲を網羅している。令和 6 (2024) 年度の参加施設は 4,601 施設と過去最高となった。また、実際の臨床現場において特に緊急性と正確性を要する臨床検査項目の精度管理調査項目への積極的な採用を目指し、特に、循環器病検査項目、血中薬物濃度、薬剤感受性標準化、体細胞遺伝子検査、バーチャルスライドを用いた精度管理調査などを検討・実施した。

① 令和 6 年度臨床検査精度管理事業の実施

○今年度は、4,601 施設・4,655 件の参加があり、昨年度より 64 施設増加した。3 月に申込を開始し、6 月に調査試料を配布した。施設別報告書及び総括統計表を、8 月末に JAMTQC のサイトで公開した。総合報告書を 12 月上旬に JAMTQC のサイトで公開、令和 7 年 1 月には、総合報告書を参加各施設宛に郵送した。

○令和 4 年度より精度管理調査に新規導入した POCT (感染症項目) に 1,140 施設の参加があり、昨年度より 205 施設増加した。3 月に申込を開始し、6 月に調査試料を配布した。施設別報告書及び総括統計表を、8 月末に JAMTQC のサイトで公開した。総合報告書を 12 月上旬に JAMTQC のサイトで公開、令和 7 年 1 月中旬には、総合報告書を参加各施設宛に郵送した。

○日臨技臨床検査精度管理調査総合報告会を令和 6 年 11 月 23 日 (土) に「幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)」で開催し、全国より 626 名の参加があった。各分野からの報告及び活発な質疑応答が行われた。また、当日の報告会の様子をビデオに収録し、e ラーニング上で展開するとともに、新しい品質保証施設認証制度における是正改善に用いるコンテンツとして情報共有した。

② 精度管理調査に関する倫理審査

精度管理調査に関わる試料及び画像データ等、個人情報に関わるものの取扱いについて、当会の基本的な考え方にに基づき、令和 6 年度精度管理フォトサーベイ部門で使用する画像データについて審査を実施した結果、倫理上問題がないことを確認した。また、調査結果の二次利用 (原則禁止) について、再周知を行った。

③ 精度管理調査用システム改修の検討

精度管理システムとしての JAMTQC システムを適宜管理し、使用年数が 6 年を迎えるサーバーについて、今後の必要スペックを踏まえて発注を行った。なお、サーバーの切り替えは令和 7 年 5 月を予定している。

④ 精度管理調査用の試料確保

令和 2 年度から精度管理調査臨床化学用試料作製 WG にて作製している臨床化学部門用の試料の原料を、今年度においても当会の精度管理調査用試料として使用

し、また、都道府県技師会の精度管理調査用試料として提供した。自前で試料を作製するメリットとして、安定的に試料供給が可能であること、品質を担保できることを含めて継続的な試料確保に努めた。

⑤ 都道府県技師会主催精度管理調査事業への日臨技臨床化学試料の提供

日臨技精度管理調査並びに都道府県技師会精度管理調査に用いる臨床化学用試料の作製を行った。また、使用希望のあった 25 道府県に「都道府県技師会用精度管理調査臨床化学試料」を提供した。

⑥ 新規精度管理調査項目の検討とトライアル調査の実施

バーチャルスライドを用いた精度管理調査について一般部門は今年度精度管理調査に新規項目として導入し、微生物・血液部門はトライアル調査を引き続き実施した。参加施設からの意見も踏まえ実用化に向けて検討を継続する。

また、循環器試料及び遺伝子分野についても実用化に向けて検討を行った。

3) 共通事業

公益目的事業として実施している精度保証・精度管理事業のそれぞれの部会における事業の進捗状況を把握、統括し管理した。また、同事業に関係する倫理に関する審議あるいは、精度管理・品質保証における結果・方針・改善について、それぞれ有識者による審議会を必要に応じて招集した。

① 品質・精度保証事業の統括・管理

精度管理調査に用いる試料の品質を担保し、安定供給を確保した上で、精度管理調査自体の精確性を保つための体制、倫理審査を含めた評価基準等の整備、精度管理責任者の質の確保、都道府県技師会と連携した是正改善方法などの構築等に取り組み、当該精度管理調査事業の信頼性の向上に努めた。

2. 学術・職能支援事業

～ 学術・技術振興／教育研修（学術・職能）／厚生労働省指定講習会／国際協力／
会誌発行／学会運営／出版／支部運営／認定 ～

1) 学術・技術振興

臨床検査技師が医療技術の高度化に対応し、患者ニーズが多様化する医療現場や社会で活躍し続けるために、職能団体としての教育研修のあり方、学術組織の再編成や医学検査学会のあり方、出版事業について検討した。教育研修では、医療現場等で必要とされる臨床検査技師を目指した能力向上に力点を置いた事業展開を行った。学術部門においては、各支部の横連携を強化して支部研修会や支部学会、全国学会の内容やあり方について検討を継続した。石川県で開催された第 73 回日本医学検査学会について、現地参加は会員 2,908 名、賛助会員 358 名、学生 240

名、その他 194 名であり、オンデマンド参加は 812 名であった。

2) 教育研修（学術）

自己学修支援システム（e ラーニング）を活用した卒後教育の充実や、分野ごとの教育教材の充実を図り、臨床検査の専門性を生かした医療人として国際協力を通じたグローバルな人材育成などの事業を展開した。

① 新生涯教育あり方の検討事業（新生涯教育制度支援・e ラーニング）

日臨技 e ラーニング「バリューレゾリューション」では、例年同様に 2024 年度 日臨技臨床検査精度管理調査総合報告会を分野ごとに閲覧できるように 11 コンテンツをアップロードした。精度管理責任者育成講習会（更新コース）の日臨技臨床検査精度管理調査総合報告会の 10 コンテンツを 2023 年度から 2024 年度に更新した。2 月末現在の e ラーニング入会者数は、会員 3,243 名（個人契約；2 名、団体契約；10 施設の 41 名）、非会員 24 名となった。

② 生涯教育研修制度の推進（都道府県助成事業）

都道府県技師会への助成事業として、699 件の研修会等が開催された。

③ 他学会等との学術研修会開催の連携

令和 7 年 3 月 22 日（土）、23 日（日）の両日、東邦大学医学部大森キャンパスにて輸血テクニカルセミナー2024 を日本輸血・細胞治療学会と共催した。Web 講義+実技は募集定員 102 名に対し 235 名以上の応募があり厳正な抽選を行い、受講者を決定し開催した。また Web 講義のみの受講は 474 名の応募があり応募者全員を対象として開催した。

3) 教育研修（職能）

医師・医療従事者の働き方改革（医師の時間外労働縮減）が進められる中、厚生労働省医政局長より発出された「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について（令和 3 年 9 月 30 日付、医政発 0930 第 16 号）」を受け、現行制度下で実施可能とされた業務について、会員に広く周知するとともに、臨床現場での実践を推進するために、患者に寄り添い専門性を生かし活躍できる人材の育成に取り組んだ。

また、臨床検査技師等に関する法律施行令、臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令の交付（令和 3 年 3 月 31 日 文部科学省高等教育局長、厚生労働省医政局長）並びに臨床検査技師養成所指導ガイドライン（令和 3 年 10 月 20 日、厚生労働省医政局長通知）が発出されたことを受け、臨地実習指導者講習会を引き続き、日本臨床検査学教育協議会と連携して日臨技各支部が担当となり開催した。さらに、臨床検査技師教育の新カリキュラムの適用から 5 年を目処として、新たな見直しの必要性について、

当会を含めた関係職種団体からの意見を受けて厚生労働省で検討を行うこととされた事を踏まえて、検証及び次期改正の準備を行うために、臨地実習あり方 WG において各論点を幅広く検討し、「臨地実習指導者への臨床検査技師養成教育カリキュラム等における臨地実習の各論点課題に対する意見とりまとめ提言書」を取りまとめた。

① 医療安全管理推進（医療安全事例分析と講習会の開催）

臨床検査関連の医療事故の具体的な解析事例を「日臨技医療安全ニュース」（N0. 19～N0. 22）として JAMT マガジン及び日臨技ホームページに掲載し、当会会員へ医療安全に対する啓発活動を行った。

医療の安全管理業務を推進するために必要な知識や技能を習得した医療安全管理者の養成を目的として、厚生労働省が示す、カリキュラム、履修時間に基づく「医療安全管理者養成講習会」を開催した。

○基本コース

10 月 1 日（火）～11 月 30 日（土）オンデマンド編 54 名修了

10 月 11 日（金）～12 日（土）現地開催（ウイנקあいち） 49 名修了

○アドバンスコース

12 月 1 日（日）～27 日（金）オンデマンド編 7 名修了

12 月 6 日（金）現地開催（日本臨床検査技師会館 3 階第 1 会議室） 8 名修了

1 月 18 日（土）Web 開催（ライブ配信） 7 名修了

② チーム医療推進（病棟・在宅・認知症領域・救急医療等（特化した研修）、臨床検査技師による様々な医療現場での活躍の啓発事業を含む）

医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアの推進にあたり以下のとおり講習会を開催した。

○「タスク・シフト／シェア：心血管治療関連 その 1」Web 開催

令和 6 年 3 月 1 日（金）～令和 6 年 8 月 31 日（土） 修了者 681 名

○「タスク・シフト／シェア：心血管治療関連 その 2」Web 開催

令和 6 年 9 月 1 日（日）～令和 7 年 2 月 28 日（金） 修了者 415 名

○「タスク・シフト／シェア：輸血関連」Web 開催

令和 6 年 3 月 1 日（金）～令和 6 年 8 月 31 日（土） 修了者 934 名

○「病棟業務とタスク・シフト／シェア推進」講習会（①オンデマンド編）Web 開催

令和 6 年 7 月 1 日（月）～令和 6 年 9 月 16 日（月） 修了者 513 名

○「病棟業務とタスク・シフト／シェア推進」講習会（②Zoom オンライン編）Web 開催

令和 6 年 9 月 23 日（月） 修了者 6 名

③ 災害対策強化（都道府県技師会との連携とマニュアルの普及等）人材育成研修
本部研修 協定研修などの開催、被災病院への後方支援に関する検討

○災害対策 WG の開催状況

第1回 令和6年10月2日（水）

内容：これまでの情報をもととした意見収集

第2回 令和6年12月2日（月）

内容：安否等の情報収集機能及び派遣協力者登録機能の構築整備について

第3回 令和7年3月5日（水）

内容：前回検討を踏まえシステム改修で対応する内容について、検査薬等供給に関する日臨技と卸連合での協定について、災害支援規定とマニュアルの改定について

○関係機関との災害時応援協定の締結を促進するためのWeb説明会

令和6年4月23日（火）

令和7年3月12日（水）

○大規模災害時の支援人材育成講習会

その1 令和6年4月1日（月）～10月31日（木）、

令和7年2月1日（土）～無期限

内容（設定基準）：コンテンツ修了により、災害対策本部での手伝いができるレベルに到達する。

その2 令和6年8月1日（木）～無期限

内容（設定基準）：コンテンツ修了により、以下のレベルに到達する。

a) 本部初動立上げの流れが把握できる。

b) 派遣要請（仮）した際の動きが理解できる。

c) 避難所での災害支援活動が理解できる。

○大規模災害における模擬対応訓練

令和6年9月27日（金）、28日（土）

内容：大規模地震時の医療活動模擬対応の政府訓練における当会の災害対策規程・マニュアルに基づく災害対策本部設置及び情報収集等の連携訓練

○災害支援時の避難所状況を理解するための学習ツール（避難所運営ゲーム：HUG）

を47都道府県技師会に貸し出しできるよう整備

令和6年10月21日（月）から対応可

○47都道府県技師会における災害支援人材を育成・配置するための受講料支援

支援内容：JIMTEF 災害医療研修ベーシックコースにおける受講料（15,000円/47都道府県技師会より1名分）

④ 臨地実習指導者講習会の開催

9回の臨地実習指導者講習会を開催、536名が修了、総計2,190名となった。

○臨地実習指導者講習会WGの開催

令和6年8月21日（水）

内容：令和6年度講習会開催状況確認

○臨地実習指導者育成協議会

令和 7 年 1 月 23 日（木）

内容：令和 6 年度講習会開催状況確認

《令和 6 年度 臨地実習指導者講習会開催状況》

開催日	担当	募集人数（名）	修了者数（名）	修了者数累計（名）
令和 3 年度	—	532	498	498
令和 4 年度	—	720	559	1,057
令和 5 年度	—	600	597	1,654
2024/4/21	北日本支部	60	60	1,714
2024/5/19	中部圏支部	60	61	1,775
2024/7/15	関甲信支部	60	59	1,834
2024/8/4	中四国支部	60	58	1,892
2024/11/10	中部圏支部	60	58	1,950
2024/12/8	首都圏支部	60	62	2,012
2024/12/15	九州支部	60	59	2,071
2025/2/24	近畿支部	60	59	2,130
2025/3/2	中四国支部	60	60	2,190

⑤ 次期改正カリキュラム検討会議

○臨地実習あり方 WG の開催状況

第 1 回 令和 6 年 8 月 14 日（水）

内容：実態情報をもととした意見収集

第 2 回 令和 6 年 10 月 9 日（水）

内容：臨地実習の進捗及び達成度を明示的に評価できる仕組みについて

臨地実習時に学生が経験すべき行為について

第 3 回 令和 6 年 11 月 8 日（金）

内容：学生と臨地実習施設のマッチングができる仕組みについて

臨地実習指導者の考え方、Scope と到達目標について

第 4 回 令和 6 年 12 月 17 日（火）

内容：臨床検査技師養成教育カリキュラム等における臨地実習の各論点課題に

対する意見とりまとめ提言書（案たたき台）について

第 5 回 令和 7 年 2 月 20 日（木）

内容：臨床検査技師養成教育カリキュラム等における臨地実習の各論点課題に

対する意見とりまとめ提言書（案）について

⑥ 職能推進

○令和 6 年度 臨床検査技師のための臨床研究と CRC に関する研修

令和 7 年 2 月 16 日（日） ライブ配信 修了者 15 名（会員 22 名 非会員 2 名）

4）厚生労働大臣指定講習会

「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」を継続開催した。また、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律(令和 3 年法律 49 号)」による改正法で、臨床検査技師の業務に新たに追加された 10 行為を行うために受講が必要な厚生労働大臣が指定する研修（タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会）を円滑に開催した。本指定講習会はオンデマンドでの基礎講習と 47 都道府県技師会の協力により実地開催する実技講習からなるため、都道府県技師会と緊密な連携体制を構築し、定期的に進捗管理を行い必要に応じ受講促進の啓発活動を強化した。

① 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の開催

令和 6 年 6 月 15 日（土）・16 日（日）幕張メッセ 修了者数 85 名

令和 6 年 10 月 12 日（土）・13 日（日） 大阪国際会議場 修了者数 137 名

令和 7 年 2 月 15 日（土）・16 日（日） 幕張メッセ 修了者数 138 名 累計 62,294 名修了

② タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の開催

オンデマンド配信の基礎講習会に 42,858 名（令和 7 年 3 月 31 日現在）が受講申請し、37,117 名が履修完了した。実技講習会は各都道府県技師会の協力のもとに都道府県単位で開催することとし、各都道府県技師会で計 139 回の実技講習会が開催され、9,166 名が修了した。幕張メッセ国際会議場において、東京都、千葉県、神奈川県、3 都県による大規模開催を 4 回行い、受講者数は 226 名、285 名、198 名、170 名となった。修了者総数は 32,509 名（令和 7 年 3 月 31 日現在）となった。

③ 職能拡大推進

現行制度下で実施可能な 14 行為の業務の実態把握を行い、ガイドライン等の整備状況等を調査した。14 行為の中の、心血管関連業務、輸血関連業務については、関連学会等と連携し研修会を開催した。

5）国際協力

国際協力事業については、諸外国の技師会との学術を通じた友好関係を推進し、グローバルな人材育成の一環で、海外短期留学（米国 ASCP）支援、若手の臨床検査技師に対する海外学会発表の支援を継続した。

また、開発途上国への技術支援として、カンボジアからの研修生（学生含む）を受け

入れ、ラボツアーなど研修プログラムを進めた。

- ① 大韓臨床病理士協会との交流（KAMT／韓国臨床検査技師会との日韓協定に基づく交流及び発表支援）

第 62 回大韓臨床病理士総合学術大会&国際カンファレンス（現地参加）

韓国仁川市にて令和 6 年 8 月 30 日（金）～31 日（土）に現地開催された同大会に役員及び発表者を派遣した。

- ・国際シンポジウム 2 名
- ・国際学生フォーラム 2 名
- ・ポスター発表者 26 名

- ② 中華民国医事検査師協会との交流（TAMT-台湾臨床検査技師会との MOU に基づく学術交流）

第 15 回 APFML 台湾学会（現地参加）

台湾高雄市にて令和 6 年 4 月 20 日（土）～21 日（日）に現地開催された同大会に役員及び発表者を派遣した。

- ・国際シンポジウム 1 名
- ・国際学生フォーラム 1 名
- ・ポスター発表者 1 名

- ③ AAMLS（アジア臨床検査技師会）への役員派遣及び発表支援

第 8 回 AAMLS 学会並びに第 16 回 APFMLS 学会（現地参加）

台北(台湾)にて令和 7 年 4 月 10 日（木）～13 日（日）に現地開催される同大会に次の派遣を決定した。

- ・国際シンポジウム 2 名
- ・国際学生フォーラム 1 名
- ・ポスター発表者 10 名

○AAMLS 会議

第 1 回 令和 6 年 8 月 30 日（金）

内容：会費納入状況の報告、委員会報告、学会報告など

第 2 回 令和 6 年 12 月 14 日（土）

内容：会計の状況報告、8 th AAMLS Congress 2025 学会など

第 3 回 令和 7 年 1 月 18 日（土）

内容：会計の状況報告、9 th AAMLS 学会など

- ④ ASCP（アメリカ臨床病理学会）との共同による海外短期留学及び ASCPi 受験支援
令和 7 年 2 月 23 日（日）～28 日（金）にて留学生を派遣した。

- ・留学派遣者 2 名

- ⑤ IFBLS（世界臨床検査技師会）2026 の日本開催のための委員会の開催
IFBLS GAD&CDM 2024（現地参加）

カナダ(バンクーバー)にて令和6年9月12日(木)～14日(土)に現地開催された同会議に役員を派遣した。

⑥ IFBLS 会議

2025年2月19日にVirtual event (Mid-Year Report)がZOOMで配信され、参加した。

⑦ 途上国への技術支援(現地及び日本へ招請しての教育など)

○カンボジア支援事業として、形態検査を中心とした精度管理のフォローアップ研修に参加するため4名の役員等を派遣した。

令和6年5月29日(水)～6月3日(月) 現地参加

○カンボジアの臨床検査技師等と学生、合計19名を招聘し、日本での臨床検査に係る研修を開催した。

令和6年10月2日(水)～10月12日(土)

6) 会誌発行

臨床検査技師における標準的な知識や技術を網羅した学術誌として「医学検査」を年4回(1月、4月、7月、10月)発刊した。また、J-Stage への登載も継続した。

また、医学検査2026年1月号より、紙面による発行形態をデジタルブック化することを決定した。なお、J-Stage へは継続登載となる。

7) 学会運営

会員の学術活動、人材育成などの研究成果を発表し、情報共有とネットワーク構築の場として、第73回日本医学検査学会を開催した。第74回日本医学検査学会(中四国支部・鳥取県担当)、第75回日本医学検査学会(北日本支部・青森県担当)、第76回日本医学検査学会(九州支部・長崎県担当)の開催準備に着手した。また、日本医学検査学会等の開催方法や学会運営方法などについて検討を継続した。

① 第73回日本医学検査学会の開催

(学会長：油野 友二、担当：石川県)

令和6年5月11日(土)、12日(日)の2日間の会期で、石川県立音楽堂、ANAクラウンプラザホテル金沢、ホテル日航金沢、ホテル金沢、もてなしドーム地下広場で現地開催した。また、5月23日(木)から6月24日(月)までWeb(オンデマンド配信)公開を行った。

○参加者：4,512名、現地参加会員2,908名、学生・賛助会員等792名、オンデマンド参加812名

○プログラム：一般演題561演題、教育講演13企画、臨技企画14企画、国際シンポジウム、国際学生フォーラム

○企業展示：57社

○共催セミナー：16 企画

② 第 74 回日本医学検査学会の開催準備

(学会長：湯田 範規、担当：鳥取県)

令和 7 年 5 月 10 日（土）、11 日（日）の大阪国際会議場（グランキューブ大阪）での開催に向け準備を行った。

③ 第 75 回日本医学検査学会の開催準備

(学会長：奥沢 悦子、担当：青森県)

令和 8 年 9 月 26 日（土）、27 日（日）幕張メッセ、東京ベイ幕張ホールでの開催に向け準備を行った。

④ 第 76 回日本医学検査学会の開催準備

(学会長：門脇 和秀、担当：長崎県)

令和 9 年 5 月 22 日（土）、23 日（日）出島メッセ長崎での開催に向け準備を行った。

8) 出版

JAMT 技術教本シリーズの発刊及び JAMT 技術教本シリーズについて、初版から 5 年以上経過したことを踏まえて改訂版を発刊した。

① JAMT 技術教本シリーズの発刊・改訂

JAMT 技術教本シリーズの改訂を進め、2025 年 1 月に『血液細胞症例集 第 2 版』『細胞検査技術教本 第 2 版』『病理検査技術教本 第 2 版』を発刊した。

② 日臨技従来出版物の管理

当会が発刊した従来出版物の今期販売数は、「臨床検査精度保証教本」102 冊、「臨床検査技師のための病院感染対策の実践ガイド改訂版」8 冊となった。

9) 支部運営

支部と都道府県技師会との連携を推進するため、支部長連絡会議、支部幹事会、支部内連絡会議において、支部運営状況を確認のうえ、課題を明確化し支部機能のあり方について検討した。

① 支部長連絡会議

構成員である執行理事、支部長にて年 5 回開催した。

② 支部幹事会

北日本支部、中四国支部、九州支部にて年 2 回、関甲信支部、首都圏支部、中部圏支部、近畿支部にて年 1 回開催した。

③ 支部内連絡会議

支部幹事、学術部長、各部門長との合同会議を北日本支部、関甲信支部、近畿支部、中四国支部、九州支部にて年 1 回、中部圏支部にて年 2 回開催した。

④ 学術部門長連絡会議

今年度は開催を見送った。

⑤ 支部学会

今年度学会より前渡金の見直しを行い適用した。また、協賛金について、次年度学会より、参加収入までにとどめるよう周知した。

学会会計の説明を目的として、各支部学会の学会会計担当者等を対象に Web にて説明会を実施した。

○北日本支部 テーマ：共創思考・力 未知の奥にある新しい価値

(宮城県：学会長 藤巻 慎一、仙台国際センター)

○関甲信・首都圏支部 テーマ：響 ～未来を奏でるシンフォニー～

(長野県：学会長 中山 朋秋、軽井沢プリンスホテルウエスト)

○中部圏支部 テーマ：どうするタスク ～愛知に集い、技師の働き方を考える～

(愛知県：学会長 藤田 孝、名古屋国際会議場)

○近畿支部 テーマ：未来共創 ----次世代とともに----

(大阪府：学会長 増田 詩織、大阪国際会議場 (グランキューブ大阪))

○中四国支部 テーマ：新時代 ―今こそ臨床検査技師の真価を問う―

(鳥取県：学会長 先灘 浩功、とりぎん文化会館)

○九州支部 テーマ：Take the next step ～未来へ踏み出す大きな一歩～

(鹿児島県：学会長 有村 義輝、鹿児島サンロイヤルホテル)

⑥ 支部研修会

前渡金並びに広告協賛金の見直しを行った。現地、Web (オンデマンド配信、ライブ配信) にて北日本支部 9 研修会、関甲信支部 7 研修会、首都圏支部 3 研修会、中部圏支部 7 研修会、近畿支部 7 研修会、九州支部 9 研修会を開催した。

10) 認定

臨床検査技師の資質向上と生涯教育の充実を図り、もって良質な医療を提供し、国民医療の向上に寄与することを目的として各認定制度を継続した。新規認定取得者のための講習会、資格更新のための講習会を充実させ、実施した。スキルアップセミナーは Web と現地を組み合わせた開催形式とすることで、会員の自己学修支援の環境を整えながらも情報交流の場を設けることで、認定制度の活性化を図った。

① 各種認定技師制度の運用

認定一般検査技師、認定心電検査技師、認定臨床染色体遺伝子検査師、認定病理検査技師、認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師、認定認知症領域検査技師、認定救急検査技師、医療技術部門管理資格認定の各認定制度に係る研修会、講習会を Web または現地で開催した。また、各認定試験を実施し、審議会で 60%以上の正答率を目処に合格者を選定し、認定制度協議会でその結果を承認し、合格者及び各認定

資格更新者を承認した。

新規の認定資格取得者の認定資格有効期間は令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間とした。

《認定検査技師試験》

認定検査技師名	受験者	合格者	合格率
認定一般検査技師制度	134	75	56.0%
認定心電検査技師制度	162	92	56.8%
認定臨床染色体遺伝子検査師制度 染色体分野	1	0	0%
認定臨床染色体遺伝子検査師制度 遺伝子分野	20	10	50.0%
認定病理検査技師制度	162	118	72.8%
認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度	86	71	82.6%
認定認知症領域検査技師制度	46	38	82.6%
認定救急検査技師制度	31	25	80.6%
医療技術部門管理資格認定制度	18	15	83.3%
医療管理者資格認定制度	4	4	100%

《認定資格更新申請》

認定検査技師名	更新対象者	更新申請承認者	更新延長申請承認者
認定一般検査技師制度	113	87	6
認定心電検査技師制度	140	120	2
認定臨床染色体遺伝子検査師制度 染色体分野	5	4	－
認定臨床染色体遺伝子検査師制度 遺伝子分野	19	19	－
認定病理検査技師制度	199	173	10
認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度	91	79	2
認定認知症領域検査技師制度	104	77	8
認定救急検査技師制度	23	21	1
医療技術部門管理資格認定制度	－	－	－

② 各種認定取得・更新に向けた学修コンテンツの継続作成

これまでにアップしたコンテンツにつき、継続的な利用及び内容の充実化を進めた。

3. 政策渉外・組織強化事業

～ 政策渉外／組織強化・組織対策／組織運営／国民医療向上／事務運営／会員管理／

1) 政策・渉外

我が国の医療政策などについて調査研究を行い、適宜国などへ臨床検査の精度の確保や臨床検査技師の職域確保、身分の向上に関する要望活動を行うとともに会員への迅速な情報提供に努めた。

令和6年診療報酬改定の分析を行い、次期診療報酬改定に向けての基礎的調査・検討を行った。また、更なる臨床検査技師の職域拡大や制度の見直し、処遇改善等を念頭に政策要望を立案し、関係機関へ要望した。

調査協力施設による定点調査や厚生労働省科学研究事業において、政策要望等に資する調査が実施できるよう進めた。

① 政策・渉外推進事業（政策要望等作成と要望活動）

医療DX及び新興感染症に対する体制整備として、厚生労働省への臨床検査技師配置強化の要望の他、精度管理の義務化の要望、臨床検査精度管理センター（仮）設置の要望、高度な知識・技術を必要とする検体検査の品質確保のための人的要件新設の要望、臨床検査技師の介護支援専門員（ケアマネジャー）の受験資格付与の要望について厚生労働省をはじめ関係各所へ提出・説明した。

② 診療報酬改定に関する調査

令和6年度の診療報酬改定等に伴うベア評価料の新設が、臨床検査技師の賃上げにつながっているかを把握するための当会理事を対象とした施設状況調査を実施した。

③ 調査協力施設による定点調査

令和8年度診療報酬改定に向けたコスト調査を実施した。

④ 日臨技医療政策フォーラムの開催

日本の医療・健康の発展のカギを握る臨床検査を中心として進歩する技術・制度改革について、様々な視点で国民に提供するため、衆議院議員であり元厚生労働大臣の田村 憲久先生をお招きした、「未来の医療を考える 2040 年問題」についての医療政策フォーラムを開催し、令和6年6月13日（木）から当会ホームページで一か月間、動画を公開した。

⑤ 厚生労働省科学研究事業への協力等による臨床検査技師関連政策の科学的根拠の創出（タスク・シフト/シェアの医療安全、医療以外での職域調査、養成教育における課題整理、臨床検査の提供地域差）

○「臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師のタスクシフティング/タスクシェアリングの安全性と有効性評価」（研究分担者）

○「レセプト情報・特定健診等情報を用いた医療保健事業・施策等のエビデンス構築

等に資する研究」(研究分担者)

○「医療関係職種の生涯活躍できる環境の整備のための研究」(研究分担者)

○「医療関係職種の養成教育における課題解決に資する研究」(研究代表者)

2) 組織強化・組織対策

日臨技が果たすべき使命や役割、将来のあるべき姿を発信し、実現に向けて各種の取り組みを行った。

組織対策として、日臨技(支部を含む)及び都道府県技師会との連携を強化し、会員にとって有益な事業展開を目的として、理事会等を通じた情報共有並びに迅速な情報伝達に努めた。

定款と諸規程等の整合性が図られているか検討し、必要に応じて諸規程等を見直した。また、会員の利便性向上や法人運営の効率化・経費削減・正確性の確保を追及することを目的に、IT技術・情報システムの更なる活用を進めた。

次世代の優秀な臨床検査技師の輩出に繋げる事業として地域ニューリーダー育成研修会を継続開催し、また、令和8年度より新たな研修会として開催するため、次世代に向けた人材育成の方法、あり方の検討に着手した。支部学会、全国「検査と健康展」などで、臨床検査技師養成校と共同して行う中高生向け進路支援事業の開催を推進し、将来を担う優秀な人材確保に取り組んだ。新入会の会員を対象に日臨技の紹介冊子を配布した。

① 定款諸規程等検討

定款、組織運営規程、会員及び会費等に関する規程、役員の報酬等及び費用に関する規程、謝金及び旅費の支給に関する規程、職員就業規則、事務局旅費規程、職員給与規則、有期雇用契約職員就業規則、育児・介護休業等に関する規程の改定を行った。また、理事の職務権限規程、宿泊料及び交通費の支給に関する運用内規、支部運営規程、個人情報保護規程、精度管理事業規程、検査値標準化事業規程、表彰規程、共済制度規程、人事委員会規程、職員就業規則運用内規、職員給与規則、育児・介護休業等に関する規程について、これまでの諸規程の改定に伴い生じた条数ずれ等の引用に関する整合性に限定し、改定を行った。

② 中高生向け進路支援

北日本支部、関甲信・首都圏支部、近畿支部及び中四国支部の支部学会時において中高生向け進路支援ガイダンスを実施するとともに臨床検査技師の認知度向上を目的とした「臨床検査技師の仕事」の冊子を配布した。

③ 地域ニューリーダー育成研修会・都道府県リーダー育成研修会への支援

地域ニューリーダー育成研修会は、平成26年度より組織活性化及び組織強化事業の一環としてこれまで10回開催した。7回までを第1期とし、令和4年度から第2期と位置づけ第2期3年目となる今年度は、各都道府県から推薦を受けた新た

な人材を育成するため、オンデマンドと集合型の研修会を開催した。

都道府県リーダー育成研修会への支援については、8道県臨床検査技師会からの要請を受けて役員を派遣した。

○地域ニューリーダー育成研修会

・オンデマンド研修

開催日時：令和6年12月16日（月）～令和7年1月15日（水）

・集合型研修

開催日時：令和7年1月18日（土） 9:00～22:00

令和7年1月19日（日） 8:30～12:30

開催場所：L stay & grow 晴海

参加人数：45名

なお、会員に広く日臨技活動を知っていただくために研修会のオンデマンド研修を公開し、受講者424名のうち249名が修了した。

④ 組織強化・学術改革を目的とした次世代人材育成プロジェクトの検討

次世代人材育成プロジェクトWGを設置し、今後の人材育成事業の実施内容について検討を開始した。

⑤ 各種調査データ解析

データ解析WGは様々な調査結果などの分析を踏まえた事業活動を行うためのWGとして設置していたが、日臨技事務局の機能が向上していることや組織実態調査・会員意識調査の集計率改善を図るためには、外部の委員を招集するよりも事務局内部で対応することが効果的であることから、次年度以降はその役割を終えることとした。

⑥ 組織運営の検討

各事業部門や常設委員会など、日臨技の組織体系を令和7年度中に整備するために検討を始めた。

⑦ 全国臨床（衛生）検査技師会長会議の開催

日時：令和6年4月13日（土）午後1時～同3時

場所：Web会議システムによる開催

内容：令和6年度日臨技事業計画及び令和6年度事業における都道府県技師会への協力をお願い等

3) 組織運営

日臨技、支部及び都道府県技師会との連携を強化し、日臨技事業の更なる推進を図った。また、各事案に対し、迅速かつ的確に対応するため部会、ワーキング会議制を継承し、事業運営上の課題、他団体への対応、会員から提起された問題や改善要求などに対処し、懸案事項についても効率的な解決を図った。また、会員向け及び国民向けの広報

について、新しい手法を用いるなど充実を図った。日臨技が使用している基幹システムの継続運用について安定化を図った。

① 新倫理綱領の周知

令和5年度定時総会において改定が承認された倫理綱領について、引き続きホームページ等に掲載した。

② 総会、理事会などの開催

令和6年度定時総会を令和6年6月22日(土)にステーションコンファレンス川崎にて開催した。議決権を有する正会員数68,797名に対し、総会出席者数合計(事前表決、代理出席表決、出席表決)は46,204名となり、総会成立のための定足数34,399名を上回り総会は成立した。議案(第1号～第6号)はすべて承認された。

定款、組織運営規程に基づく会議を開催するとともに、隔月で開催する理事会では、委員会やWG、執行理事会議を経た重要案件などについて審議を行った。

○定時総会 1回

○理事会 7回

○執行理事会議 12回

○支部長連絡会議 5回

○各種委員会、WG、部会

○理事研修会 1回

③ 表彰事業の推進

令和5年度の各賞の表彰を令和6年度定時総会・第73回日本医学検査学会で執り行った。

○永年職務精励賞 1,103名

○日臨技有功賞 会長賞 1名

特別賞 2名

功労賞 受賞者なし

○日臨技貢献賞(個人) 1名

○日臨技貢献賞(団体) 1団体

○地域貢献賞 10名

○日臨技学術奨励賞

最優秀論文賞 1名、優秀論文賞 5名

最優秀演題賞 1名、優秀演題賞 8名

特別奨励賞 4名

結核予防会 結核研究奨励賞(日臨技推薦) 1名

○支部学術奨励賞

北日本支部 3名、首都圏・関甲信支部 3名、中部圏支部 3名

近畿支部 3名、中四国支部 3名、九州支部 3名

○日臨技学生表彰

一般社団法人日本臨床検査学教育協議会加盟校の卒業予定の学生を対象とし、各校から1名の推薦により74名を表彰した。

④ 賀詞交換会の開催

日時：令和7年1月24日（金）

場所：都市センターホテル コスモスホールⅡ

出席者：232名

⑤ 会員向け広報紙の発行・ホームページなどでの広報

「日本臨床衛生検査技師会のご案内」の冊子を製作、新入会員に配布し、新入会員の日臨技への理解を促した。

会員への情報伝達の方法として、適宜ホームページを更新した。

令和6年度は「臨床検査技師の紹介」ページに「みんな知ってる？臨床検査技師の仕事」（動画）を新たに掲載した。

会員専用ページのスマートフォン対応について、まずはトップページの対応を終え、その他は検討を継続した。また、必要に応じて日臨技一斉メールシステムを利用し、会員への情報提供、案内を行った。

また「入会のご案内」のパンフレットを臨床検査技師養成校の卒業生に配布し、会員入会促進を図った。

⑥ 時代に即した会員向け広報のあり方の検討

令和7年度の開発にむけて、会員への広報ツールとしてJAMTアプリ（仮称）の機能要件をまとめた。

⑦ 日臨技情報システムの運用と改変の検討

日臨技基幹システムの機能等について、必要に応じて機能追加を行った。また、今年度から設置した情報システム課において、会員管理システムの機能要件を資料としてまとめた。

⑧ 日臨技事業の収録推進

医学検査学会や日臨技医療政策フォーラム、定時総会など、日臨技が行う事業を映像で記録した。

4) 国民医療向上

国民医療向上／安全対策事業として、臨床検査に関する正しい知識の普及、啓発を目的に、11月の「臨床検査普及月間」にあわせて、中央会場を含む47都道府県技師会との共同で全国「検査と健康展」を開催した。また、臨床検査技師の仕事の認知度向上を目指した国民向けの季刊広報誌「Pipette」を継続発刊した。

① 季刊広報誌「Pipette」の発刊（国民向けの広報誌）

国民に対して臨床検査並びに臨床検査技師の仕事を広く周知し、社会的認知度を向上させる目的で年4回の発刊を継続した。令和7年3月現在、全国8,884箇所（医療機

関など)に115,391部(今期総数は461,592部)を発送した。

② 全国「検査と健康展」の開催

臨床検査に関する正しい知識の普及、啓発を目的に、11月の「臨床検査普及月間」に合わせて、中央会場を含む47都道府県技師会と共同で全国「検査と健康展」を開催した。

今年の中央会場は、一般社団法人岐阜県臨床検査技師会が担当し、次のとおり開催した。

○中央会場

- ・開催日時：令和6年11月10日(日)10:00～15:00
- ・開催場所：イオンモール土岐
- ・参加人数：210名

○地方会場

46都道府県技師会が実施し、大会において助成をした。また、一般社団法人日本臨床検査専門医会からの医師の派遣にも対応した。

5) 事務運営

事務管理として、総務部、事業部、政策調査課、広報課、情報システム課の事務所掌及び事務局担当者を明確にし、業務運営の安定化と効率化を図った。一部の管理職員の退職もあったが、事務局員の適切な労働環境を確保しつつ、会員サービスを向上させるために必要最低限の人員を配置した。また、事業調書ごとに、事業、予算の執行状況を四半期単位で検証し、担当理事と事務局担当者で情報共有と連携に努め、確実な事業遂行と適正な予算執行に努めた。

6) 会員管理

当初予算で見込んでいた会員(会費納入者)数の72,000名に対し、71,541名の実績となり、未達成ではあるが、正会員受取会費は前年度対比684万円増となった。

7) 日臨技共済制度

共済制度の安定的な運営を継続し、会員の相互扶助として、臨床検査技師賠償責任共済制度、会務参加中の普通傷害共済制度、臨床検査技師廃業後賠償責任共済制度、研修会等事前参加費返金制度、感染症罹患共済金制度、被災者会費減免制度を継続した。会員への共済制度の広報について、JAMTマガジン及びホームページを通じて行った。

○支払事例(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

- ⇒臨床検査技師賠償責任共済制度 6件
- ⇒会務参加中の普通傷害共済制度 0件
- ⇒臨床検査技師廃業後賠償責任共済制度 0件
- ⇒感染症罹患共済金制度 102件

⇒研修会等事前参加費返金制度 1 件

⇒被災者会費減免制度 36件

《会費減免申請状況》

罹災原因（罹災証明書の記載内容）	都道府県	申請日	承認日	人数
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20240511	20240727	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20240512	20240727	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20240523	20240727	1 名
令和 6 年 1 月 1 日の能登半島地震による	新潟県	20240603	20240727	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20240601	20240727	1 名
令和 6 年 1 月 1 日の能登地方を震源とする地震	富山県	20240606	20240727	1 名
令和 6 年 1 月 1 日の令和 6 年能登半島地震による	富山県	20240606	20240727	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20240613	20240727	1 名
令和 6 年能登半島地震	石川県	20240605	20240727	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20240614	20240727	1 名
令和 6 年 1 月 1 日の令和 6 年能登半島地震による	石川県	20240620	20240928	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20240701	20240928	1 名
令和 6 年 1 月 1 日の能登半島地震による	新潟県	20240709	20240928	1 名
令和 6 年 1 月 1 日の令和 6 年能登半島地震による	石川県	20240702	20241116	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20240702	20241116	1 名
令和 6 年 1 月 1 日の令和 6 年能登半島地震による	石川県	20240702	20241116	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20240914	20241116	1 名
令和 6 年 1 月 1 日の能登半島地震による	新潟県	20240916	20241116	1 名
令和 6 年 1 月 1 日発生の能登半島地震による	石川県	20240924	20241116	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20241008	20241116	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20241009	20241116	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20241021	20241116	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20241025	20241116	1 名
令和 6 年 7 月 25 日からの大雨	山形県	20240930	20250125	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20241107	20250125	1 名
令和 6 年能登半島地震	石川県	20241119	20250125	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20241120	20250125	1 名
令和 6 年能登半島地震による	石川県	20241120	20250125	1 名

令和6年能登半島地震による	石川県	20241121	20250125	1名
令和6年能登半島地震による	石川県	20241121	20250125	1名
令和6年能登半島地震による	石川県	20241204	20250125	1名
令和6年能登半島地震による	石川県	20241207	20250125	1名
令和6年能登半島地震による	石川県	20241209	20250125	1名
令和6年1月1日の令和6年能登半島地震による	石川県	20241211	20250125	1名
令和6年能登半島地震による	石川県	20241216	20250125	1名
令和6年能登半島地震による	石川県	20250122	20250322	1名

8) 会館

会館について、3階の第1会議室の設備（プロジェクター）等の交換と1階の事務局スペースの拡充を見据えた検討を行い、4月に関連工事の実施を確定した。

以上

■参考資料は次頁以降に掲載しています。

《資料1 研修会等開催状況》

《資料2 支部運営》

《資料3 各種団体・学会 派遣一覧》

《資料4 委員会・部会・WG 設置状況》

《資料5 組織調査》

《資料6 会員数推移》

《資料1 研修会等開催状況》

日臨技認定センター指定講習会・資格更新・育成研修会、認定試験

行事名	開催日	開催場所
令和6年度認定一般検査技師制度 行列 のできるスキルアップ研修会 PartXIII	オンデマンド：令和6年4月13日 (土)～5月7日(火) 現地：令和6年5月10日(金)	Web：オンデマンド配信 現地：ホテル金沢 2階
令和6年度認定一般検査技師制度育成研 修会(尿検査編)	令和6年8月1日(木) ～8月31日(土)	Web(オンデマンド配信)
令和6年度認定一般検査技師制度育成研 修会(その他の材料編)	令和6年9月1日(日) ～9月30日(月)	Web(オンデマンド配信)
令和6年度認定一般検査技師制度資格更 新研修会	令和6年10月1日(火) ～10月31日(木)	Web(オンデマンド配信)
令和6年度認定心電検査技師制度 行列 のできるスキルアップ研修会 PartXIII	令和6年5月10日(金)	ホテル日航金沢 3階
令和6年度認定心電検査技師育成研修会	令和6年9月1日(日) ～9月30日(月)	Web(オンデマンド配信)
令和6年度認定臨床化学・免疫化学精度 保証管理検査技師 行列のできるスキ ルアップ研修会 PartXIII	オンデマンド：令和6年4月13日 (土)～5月7日(火) 現地：令和6年5月10日(金)	Web：オンデマンド配信 現地：ホテル金沢 4階
令和6年度認定臨床化学・免疫化学精度 保証管理検査技師 第1回指定講習会	令和6年9月1日(日) ～9月30日(月)	Web(オンデマンド配信)
令和6年度認定臨床化学・免疫化学精度 保証管理検査技師制度資格更新研修会	令和6年10月1日(火) ～10月31日(木)	Web(オンデマンド配信)
令和6年度認定臨床染色体遺伝子検査師 制度 行列のできるスキルアップ研修 会 PartXIII	オンデマンド：令和6年4月13日 (土)～5月10日(金)	Web(オンデマンド配信)
令和6年度認定臨床染色体遺伝子検査師 制度育成研修会	令和6年9月1日(日) ～9月30日(月)	Web(オンデマンド配信)
令和6年度認定臨床染色体遺伝子検査師 制度スキルアップ研修会	令和6年10月1日(火) ～10月31日(木)	Web(オンデマンド配信)

行事名	開催日	開催場所
令和6年度認定認知症領域検査技師制度 行列のできるスキルアップ研修会 PartXIII	オンデマンド：令和6年4月13日 (土)～5月7日(火) 現地：令和6年5月10日(金)	Web：オンデマンド配信 現地：ANAクラウンプラザホ テル金沢 3階
令和6年度認定認知症領域検査技師 指 定講習会(2日コース)	令和6年9月1日(日) ～9月30日(月)	Web(オンデマンド配信)
令和6年度認定認知症領域検査技師日本 認知症予防学会併設JSDP技師講座(1日 コース：資格更新のためのセミナー)	令和6年9月29日(日)	パシフィコ横浜 ノース
令和6年度認定認知症領域検査技師JSDP 技師講座(2日コース)	令和7年2月1日(土) ～2月28日(金)	Web(オンデマンド配信)
令和6年度 認定病理検査技師制度 行 列のできるスキルアップ研修会 PartXIII	オンデマンド：令和6年4月13日 (土)～5月7日(火) 現地：令和6年5月10日(金)	Web：オンデマンド配信 現地：ホテル金沢 2階
令和6年度認定病理検査技師制度 指定 講習会	令和6年7月1日(月) ～7月31日(水)	日臨技Web研修システム
令和6年度認定病理検査技師制度 特定 講習会(資格更新研修会)	令和6年9月1日(日) ～9月30日(月)	日臨技Web研修システム
令和6年度認定救急検査技師制度 行列 のできるスキルアップ研修会PartXIII	オンデマンド：令和6年4月13日 (土)～5月7日(火) 現地：令和6年5月10日(金)	Web：オンデマンド配信 現地：ANAクラウンプラザホ テル金沢 3階
令和6年度認定救急検査技師制度 第1 回指定講習会(関東)	令和6年8月4日(日)	ステーションコンファレン ス川崎
令和6年度認定救急検査技師制度 第2 回指定講習会(九州)	オンデマンド：令和6年8月13日 (月)～8月22日(木) 現地：令和6年8月25日(日)	Web：オンデマンド配信 現地：九州大学病院
令和6年度認定一般検査技師制度 第18回認定試験	令和6年11月24日(日)	幕張メッセ国際会議場
令和6年度 認定心電検査技師制度 第17回認定試験	令和6年11月24日(日)	幕張メッセ国際会議場
令和6年度 認定臨床染色体遺伝子検査 技師制度 第17回認定試験(遺伝子分 野)	令和6年11月24日(日)	幕張メッセ国際会議場

行事名	開催日	開催場所
令和6年度 認定臨床染色体遺伝子検査師制度 第17回認定試験（染色体分野）	令和6年11月24日（日）	幕張メッセ国際会議場
令和6年度 認定病理検査技師制度 第10回認定試験	令和6年11月24日（日）	幕張メッセ国際会議場
令和6年度 認定臨床化学・免疫化学精密度保証管理検査技師制度 第10回認定試験	令和6年11月24日（日）	幕張メッセ国際会議場
令和6年度 認定認知症領域検査技師制度 第10回認定試験	令和6年11月24日（日）	幕張メッセ国際会議場
令和6年度 認定救急検査技師制度 第8回認定試験（通算11回）	令和6年11月24日（日）	幕張メッセ国際会議場

医療技術部門管理資格及び医療管理者資格認定制度 研修会、認定試験

行事名	開催日	開催場所
医療技術部門管理資格制度 夏集合研修 テーマ「医療版ロジカルシンキングをマスターする」	令和6年8月3日（土）・4日（日）	日本臨床検査技師会館3階
医療技術部門管理資格制度 秋集合研修 テーマ「医療機関の内部環境分析と外部環境分析をマスターする」	令和6年11月23日（土）・24日（日）	日本臨床検査技師会館3階
管理認定オンライン勉強会（認定者対象）	令和6年4月	Web（ライブ配信） ＋オンデマンド配信
	令和6年5月	
	令和6年7月	
	令和6年8月	
	令和6年9月	
	令和6年10月	
	令和6年11月	
	令和6年12月	
	令和7年2月	
令和6年度 医療技術部門管理資格認定制度行列のできるスキルアップ研修会 PartXIII	令和6年5月10日（金）	ANAクラウンプラザホテル金沢 3階
管理認定集合研修・病院見学会	令和6年11月16日（土）	社会福祉法人 恩賜財団 済生会今治病院
令和6年度 医療技術部門管理資格認定制度 第5回認定試験	令和6年12月21日（土）・22日（日）	Web開催
令和6年度 医療管理者資格認定制度 第2回認定試験	令和6年12月21日（土）	Web開催

教育研修（学術）

行事名	募集人数	修了人数
輸血テクニカルセミナー2024 Web 開催：3月22日（土） 現地開催：3月23日（日） 場 所：東邦大学医学部大森キャンパス	Web 200 実技付100	Web 474 実技付 101

教育研修（職能）

行事名	開催日	開催場所	修了人数
「タスク・シフト／シェア：心血管治療関連 その1」研修会	令和6年3月1日（金） ～8月31日（土）	Web開催	681
「タスク・シフト／シェア：輸血関連」研修会	令和6年3月1日（金） ～8月31日（土）	Web開催	934
大規模災害時の支援人材育成講習会 その1	令和6年4月1日（月） ～10月31日（木） 令和7年2月1日（土） ～期限無	Web開催	1,292 (3月31日時点)
「病棟業務とタスク・シフト／シェア推進」講習会（①オンデマンド編）	令和6年7月1日（月） ～9月16日（月）	Web開催	513
大規模災害時の支援人材育成講習会 その2	令和6年8月1日（木） ～期限無	Web開催	774 (3月31日時点)
「タスク・シフト シェア：心血管治療関連 その2」研修会	令和6年9月1日（日） ～令和7年2月28日（金）	Web開催	415
「病棟業務とタスク・シフト／シェア推進」講習会（②Zoomオンライン編）	令和6年9月23日（月）	Web開催	6
令和6年度 臨床検査技師のための臨床研究とCRCに関する研修	令和7年2月16日（日）	Web開催	15
医療安全管理者養成講習会（基本コース）【オンデマンド編】	令和6年10月1日（火） ～11月30日（土）	Web開催	54
医療安全管理者養成講習会（基本コース）【現地開催】	令和6年10月11日（金） ～12日（土）	ウィンク あいち	49
医療安全管理者養成講習会（アドバンスコース）【オンデマンド編】	令和6年12月1日（日） ～27日（金）	Web開催	7
医療安全管理者養成講習会（アドバンスコース）【現地開催】	令和6年12月6日（金）	日本臨床検査技師会館	8
医療安全管理者養成講習会（アドバンスコース）【ライブ配信】	令和7年1月18日（土）	Web開催	7

検体採取等に関する厚生労働省指定講習会

開催日	開催場所	募集人数	修了者数
令和6年6月15日（土）・16日（日）	幕張メッセ	200	85
令和6年10月12日（土）・13日（日）	大阪国際会議場	200	137
令和7年2月15日（土）・16日（日）	幕張メッセ	200	138

タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

支部	基礎講習（R3～R6）		実技講習					修了率 （％）※
	現在までの 累計申込者	現在までの 累計修了者	R3修了者	R4修了者	R5修了者	R6修了者	合計	
北日本支部	5,267	4,640	179	1,047	1,557	1,225	4,008	42.8
関甲信支部	5,648	4,907	461	1,243	1,396	1,126	4,226	44.9
首都圏支部	7,302	5,923	115	1,045	1,584	2,044	4,788	33.2
中部圏支部	5,980	5,458	457	2,032	1,484	1,124	5,097	56.0
近畿支部	6,076	5,311	213	1,662	1,737	1,145	4,757	44.2
中四国支部	4,860	4,448	340	1,558	1,334	830	4,062	52.4
九州支部	4,810	4,041	109	1,266	1,307	807	3,489	37.2
会員合計	39,943	34,728	—	—	—	8,301	30,427	43.3
非会員合計	2,689	2,153	—	—	—	436	1,653	—
総合計	42,632	36,881	1,969	10,408	10,958	8,737	32,080	—

組織強化

行事名	開催日	開催場所
地域ニューリーダー育成研修会 （第3回）事前研修会	令和6年12月16日（月） ～令和7年1月15日（水）	オンデマンド開催
地域ニューリーダー育成研修会 （第3回）現地研修会	令和7年1月18日（土） ・19日（日）	L stay & grow晴海
令和6年度 日臨技事業説明	令和7年3月1日（月） ～31日（月）	オンデマンド開催

《資料2 支部運営》

1) 支部学会の開催状況

支部	開催日時 / 会場	参加人数	演題数
北日本	会 期： 令和6年12月14日（土）～15日（日） 会 場： 仙台国際センター テーマ： 共創思考・力 未知の奥にある新しい価値	会員 870名 (実務委員45名) 招待 3名 賛助会員 107名 学生 13名 非会員 11名 合計 1,004名	156
首都圏・関甲信	会 期： 令和6年10月26日（土）～27日（日） 会 場： 軽井沢プリンスホテルウエスト テーマ： 響 ～未来を奏でるシンフォニー～	会員 772名 賛助会員 31名 非会員 6名 学生 19名 合計 828名	127
中部圏	会 期： 令和6年11月2日（土）～3日（日・祝） 会 場： 名古屋国際会議場 テーマ： どうするタスク ～愛知に集い、技師の働き方を考える～	会員 1,169名 (実務委員65名) 賛助会員 79名 学生 66名 非会員 4名 合計 1,318名	157
近畿	会 期： 令和6年11月3日（日・祝）～4日（月） 会 場： 大阪国際会議場（グランキューブ大阪） テーマ： 未来共創 -----次世代とともに-----	会員 1,084名 (実行委員48名) 賛助会員 61名 学生 258名 関連団体 32名 非会員 15名 合計 1,450名	96
中四国	会 期： 令和6年11月2日（土）～3日（日・祝） 会 場： とりぎん文化会館 テーマ： 新時代 ― 今こそ臨床検査技師の真価を問う ―	会員 510名 (実務委員119名) 賛助会員 41名 学生 46名 非会員 2名 合計 718名	114
九州	会 期： 令和6年11月9日（土）～10日（日） 会 場： 鹿児島サンロイヤルホテル テーマ： Take the next step ～未来へ踏み出す大きな一歩～	会員 718名 (実務委員123名) 賛助会員 82名 非会員 10名 学生 37名 招待 17名 合計 864名	125

2) 支部幹事会の開催状況

支部	開催日時 / 会場
北日本	日時：令和6年10月8日（火）18時～20時 場所：Web会議（Zoom）
	日時：令和7年2月22日（土）9時～12時 場所：宮城県臨床検査技師会事務所
関甲信	日時：令和6年10月26日（土）14時～15時 場所：軽井沢プリンスホテルウエスト 白樺
首都圏	日時：令和6年10月26日（土）16時30分～17時30分 場所：軽井沢プリンスホテルウエスト 白樺
中部圏	日時：令和6年11月1日（金）13時～16時 場所：名古屋金山ホテル 2階会議室
近畿	日時：令和6年9月21日（土）14時～15時30分 場所：大阪府臨床検査技師会事務所
中四国	日時：令和6年5月20日（月）18時30分～20時 場所：Web会議（Zoom）
	日時：令和7年3月10日（月）19時～20時 場所：Web会議（Zoom）
九州	日時：令和6年6月29日（土）14時～17時 場所：リファレンス駅東ビル貸会議室
	日時：令和7年2月26日（水）18時45分～20時 場所：Web会議（Zoom）

3) 支部内連絡会議の開催状況

支部	開催日時 / 会場
北日本	日時：令和6年12月13日（金）14時～17時 場所：仙台国際センター 会議棟 小会議室
関甲信	日時：令和6年10月26日（土）15時～16時30分 場所：軽井沢プリンスホテルウエスト 白樺
首都圏	日時：令和6年10月26日（土）15時～16時30分 場所：軽井沢プリンスホテルウエスト 白樺
中部圏	日時：令和6年7月20日（土）9時～12時 場所：Web会議（Zoom）
	日時：令和7年3月6日（木）18時～20時 場所：Web会議（Zoom）
近畿	日時：令和6年11月3日（日）17時15分～18時15分 場所：大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）
中四国	日時：令和6年11月1日（金）15時～17時 場所：ホテルモナーク鳥取
九州	日時：令和6年11月8日（金）15時～17時 場所：鹿児島サンロイヤルホテル

令和6年度 各種団体・学会 派遣一覧

団 体 ・ 学 会		役 職 名		人数	派 遣 役 員
関連団体	一般社団法人 日本衛生検査所協会	衛生検査所業公正取引協議会運営委員		1	深澤恵治
	一般財団法人 医療関連サービス振興会	評議員		1	深澤恵治
		衛生検査所専門部会・調査指導中央委員会 副委員長		1	深澤恵治
		衛生検査所専門部会委員		1	益田泰蔵
		医療機器保守点検部会委員		1	深澤恵治
	公益社団法人 日本臨床検査標準協議会 (JCCLS)	理事		2	竹浦久司 西浦明彦
		ISO/TC212 国内検討委員会 (団体委員)		1	益田泰蔵
		JIS原案作成委員会		1	菊地良介
		WG 1 : 臨床検査室における品質と能力		1	益田泰蔵
		WG 4 : 微生物検査と分子診断		1	樫山誠也
		WG 5 : 検査室のバイオリスクマネジメント		1	樫山誠也
		教育・出版委員会	基準範囲共用化委員会	2	荒木秀夫 神山清志
			標準採血法検討委員会	1	益田泰蔵
			用語委員会	1	益田泰蔵
		認証評価委員会	認証評価委員会	1	益田泰蔵
	一般社団法人 日本臨床検査振興協議会	役員	副理事長	1	横地常広
			監事 / 理事	4	深澤恵治 / 竹浦久司 山寺幸雄 西浦明彦
		診療報酬委員会	診療報酬改定小委員会	2	益田泰蔵 竹浦久司
			診療報酬制度小委員会	1	山寺幸雄
		医療政策委員会	在宅医療における臨床検査小委員会	3	宮原祥子 宮下 勉 坂本秀生
			遺伝子関連検査に関する小委員会	2	小松京子 芹澤昭彦
			感染症対策に関する小委員会	2	樫山誠也 三澤成毅
		広報委員会		2	益田泰蔵 原田典明
		大規模災害対策委員会		2	奥沢悦子 直田健太郎
		将来ビジョン委員会		2	横地常広 菊地良介
	LDTに関するワーキンググループ		1	神山清志	
	チーム医療推進協議会	理事		1	深澤恵治
		代議員 / 補欠代議員		1	益田泰蔵 / 宮原祥子
	一般社団法人 日本臨床検査医学会	HbA1c適正運用機構		1	神山清志
	公益社団法人 日本臨床検査同学院	POCT測定認定士審議会		1	深澤恵治
	公益財団法人 医療機器センター	評議員		1	深澤恵治
	公益財団法人 結核予防会	結核研究奨励賞選考委員会委員		1	深澤恵治
	CRCあり方会議支援委員会	支援委員		1	深澤恵治
		22回学会プログラム委員 / 23回学会プログラム委員 / 24回学会プログラム委員		1	池田律子 / 佐藤康敬 / 上田 勉
	一般社団法人 日本認知症予防学会	理事		1	深澤恵治
	一般社団法人 日本医療検査科学会	POC技術委員会		2	猪浦一人 原田典明
	公益財団法人 日本適合性認定協会 (JAB)	臨床検査室 技術アドバイザー		1	深澤恵治
	一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会	輸血検査に係る臨床検査技師への「共同事業協議会」		2	西浦明彦 小松京子 南部重一
	特定非営利活動法人 日本病理精度保証機構	副理事長		1	小松京子
		理事		1	古屋周一郎
		代表		1	芹澤昭彦
		企画・運営委員会		1	芹澤昭彦
		評価判定小委員会		5	芹澤昭彦 阿部 仁 青木裕志 濱川真治 山下和也
	一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会	監事		1	上原昭浩
	中央医療事故調査等支援団体等連絡協議会	構成員		1	宇城研悟
	公益財団法人 黒住医学研究振興財団	評議員		1	竹浦久司
	一般社団法人 日本医療安全調査機構	社員代表者		1	横地常広
		「センター調査」個別調査部会 統括責任者		1	深澤恵治
	感染症教育コンソーシアム	コアメンバー		1	三澤成毅
認定検査技師機構	認定検査技師機構	副理事長	1	横地常広	
		事務局長	1	西浦明彦	
	認定輸血検査技師制度協議会 同 審議会	委員	1	西浦明彦	
		委員	2	小松京子 南部重一	
	認定臨床微生物検査技師制度協議会 同 審議会	委員	1	横地常広	
		委員	2	細谷隆一 樫山誠也	
	日本サイトメトリー技術者認定協議会 同 審議会	委員	1	西浦明彦	
		委員	2	早坂光司 植木哲也	
	認定血液・認定骨髓検査技師制度協議会 同 審議会	委員	1	手登根稔	
	委員	1	植木哲也		
海外	Asia Association of Medical Laboratory Scientists (AAMLS)	理事	1	横地常広	
	公益財団法人 国際医療技術財団 (JIMTEF)	理事	1	小松京子	
	同 JIMTEF災害医療委員会	委員	1	奥沢悦子	

《資料4 委員会・部会・WG 設置状況》

	事業区分	委員会・WG		事業区分	委員会・WG
公益目的事業	精度保証 (標準化)	精度保証・標準化部会	学術・職能支援事業	認定	試験WG
		サポート（是正・改善・立入調査）検討WG			資格更新・研修会WG
		精度管理責任者育成講習会WG			認定心電検査技師制度 審議会
		内部精度管理相談窓口WG			試験WG
		品質保証施設認証制度WG			資格更新・研修会WG
		血球形態標準化WG			医療技術部門管理資格認定制度 審議会
		病理FFPE材料を前提とした固定液標準化検討WG			資格更新・研修会WG
	精度管理	精度管理部会			試験WG
		精度管理調査 臨床化学WG			医療管理者資格認定制度 審議会
		精度管理調査 免疫血清WG			資格更新・研修会WG
		精度管理調査 微生物WG			試験WG
		精度管理調査 血液WG			認定病理検査技師制度 審議会
		精度管理調査 細胞WG			試験WG
		精度管理調査 一般WG			資格更新・研修会WG
		精度管理調査 生理WG			認定認知症領域検査技師制度 審議会
		精度管理調査 輸血WG			資格更新・研修会WG
		精度管理調査 病理WG			試験WG
		精度管理調査 遺伝子WG			認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度 審議会
		精度管理倫理審査会			試験・資格更新・研修会WG
		精度管理調査臨床化学用試料作製WG			認定救急検査技師制度 審議会
		日臨技精度管理調査評価基準検討WG			資格更新・研修会WG
		結果・方針・改善方針の検討審議会			試験WG
		精度管理調査項目検討部会			広報WG
		POCT精度管理調査検討WG		会誌発行	出版委員会
		バーチャルスライドを用いた精度管理調査WG		政策渉外	政策推進WG
		体細胞遺伝子検査の精度管理調査に向けた検討WG			診療報酬委員会
		血中薬物精度管理調査検討WG			組織運営委員会
		循環器病検査項目精度管理検討WG		組織対策	データ解析WG
	実施事業共通	品質・精度保証委員会			臨床検査DX検討WG
					定款・諸規程等改定委員会
学術・職能支援事業	学会	学会組織委員会			次世代人材育成プロジェクトWG
		全国・支部学会あり方WG		組織運営	叙勲候補者選考委員会
		第74回日本医学検査学会運営部会			検査と健康展事業WG
		第75回日本医学検査学会運営部会			予算委員会
		第76回日本医学検査学会運営部会			予算・実績管理WG
	支部	支部内連絡会議			人事委員会
		支部幹事会			設立母体別代表者会議
		支部長連絡会議			表彰委員会
	厚生労働省 指定講習会	教育研修委員会			役員候補者選出委員会
		厚生労働省（厚生労働大臣）指定講習会WG			資格審査委員会
		タスクシフトにかかわる病理検査業務検討WG			広報委員会
	教育研修 (学術)	生涯教育あり方委員会			会報JAMT・JAMTマガジン編集WG
					季刊誌「ビペット」編集WG
	教育研修 (職能)	医療安全委員会			システム委員会
		認知症WG		共済	共済制度委員会
		職域別職能推進WG（病棟）			
		職域別職能推進WG（在宅医療/救命救急）			
		災害対策WG			
		臨地実習指導者講習会WG			
		臨地実習あり方WG			
	国際協力	国際活動WG			
		IFBLS2026プログラム委員会			
		IFBLS2026準備委員会			
	認定	日臨技認定制度協議会			
		認定一般検査技師制度 審議会			
		試験・資格更新・研修会WG			
		認定臨床染色体遺伝子検査師制度 審議会			

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 組織調査 (令和7年3月31日時点)

(1) 会員種別免許別 性別・会員数

会員分類	免許別	男性	女性	入金会員数
正会員	臨床のみ	20,458	50,203	70,661
正会員	衛生のみ	85	51	136
正会員	両方取得	312	423	735
正会員(免許申請中)	両方未取得	5	5	10
名誉会員	両方取得	3	0	3
合計		20,863	50,682	71,545

(2) 生年月日別 性別・会員数

生年月日	男性	女性	入金会員数
大正元.07.30～大正15.12.24	1	0	1
昭和元.12.25～昭和4.12.31	2	0	2
昭和5.01.01～昭和9.12.31	6	1	7
昭和10.01.01～昭和14.12.31	7	2	9
昭和15.01.01～昭和19.12.31	28	10	38
昭和20.01.01～昭和24.12.31	109	51	160
昭和25.01.01～昭和29.12.31	265	215	480
昭和30.01.01～昭和34.12.31	944	926	1,870
昭和35.01.01～昭和39.12.31	1,996	2,872	4,868
昭和40.01.01～昭和44.12.31	2,153	4,450	6,603
昭和45.01.01～昭和49.12.31	1,838	5,501	7,339
昭和50.01.01～昭和54.12.31	1,610	5,658	7,268
昭和55.01.01～昭和59.12.31	1,933	5,834	7,767
昭和60.01.01～平成元.12.31	2,694	5,548	8,242
平成2.01.01～平成6.12.31	3,048	7,184	10,232
平成7.01.01～平成11.12.31	3,078	8,573	11,651
平成12.01.01～平成16.12.31	1,151	3,857	5,008
合計	20,863	50,682	71,545

(3) 入会年度別 性別・会員数

入会日	男性	女性	入金会員数
昭和27～昭和29 年度	3	0	3
昭和30～昭和34 年度	4	1	5
昭和35～昭和39 年度	9	2	11
昭和40～昭和44 年度	29	14	43
昭和45～昭和49 年度	107	44	151
昭和50～昭和54 年度	235	170	405
昭和55～昭和59 年度	910	660	1,570
昭和60～平成元 年度	1,415	1,704	3,119
平成2～平成6 年度	1,677	2,779	4,456
平成7～平成11 年度	1,278	2,921	4,199
平成12～平成16 年度	1,347	3,717	5,064
平成17～平成21 年度	2,023	5,879	7,902
平成22～平成26 年度	3,390	8,300	11,690
平成27～令和元 年度	4,365	12,498	16,863
令和2～令和6 年度	4,070	11,990	16,060
合計	20,862	50,679	71,541

(4) 病床数別 施設数・会員数

病床数範囲	施設数	入金会員数
なし	1,878	7,867
1～19	216	465
20～99	1,078	2,927
100～199	1,546	7,371
200～299	734	5,933
300～499	844	14,775
500～699	265	9,273
700～999	94	4,944
1000以上	39	2,879
未記入	948	2,550
不明	0	0
自宅	0	12,561
合計	7,642	71,545

(5) 施設形態別 施設数・会員数

施設形態	施設数	入金会員数
一般病院Ⅰ(特定機能病院)	147	7,137
一般病院Ⅱ(地域医療支援病院)	632	15,808
一般病院Ⅲ(機能指定無し)	3,711	25,023
精神科病院	348	656
療養所(一般)	64	225
療養所(結核)	12	75
診療所(有床)	205	395
診療所(無床)	986	1,866
検診センター	133	961
健診センター	161	882
歯科(病院)	7	17
歯科診療所	1	1
研究所	76	254
保健所	96	175
血液センター	37	176
学校	160	954
衛生検査所	573	3,777
製薬会社	32	44
医療機器会社	50	105
その他	204	446
未記入	7	7
不明	0	0
自宅	0	12,561
合計	7,642	71,545

(6) 経営主体別 施設数・会員数

経営主体	施設数	入金会員数
文部科学省Ⅰ(大学)	85	2,576
文部科学省Ⅱ(その他)	40	662
厚生労働省Ⅰ(大学)	2	12
厚生労働省Ⅱ(その他)	159	2,147
労働者健康安全機構	31	669
その他の省庁	45	267
都道府県	322	3,862
市町村	620	6,812
医師会	3	21
日赤(赤十字)	129	2,517
済生会	79	1,501
北海道社会事業協会	5	38
厚生連	111	2,106
国民健康保険団体連合会	3	19
JCHO	19	298
健康保険組合及びその連合会	21	333
共済組合及びその連合会	39	666
国民健康保険組合	6	10
公益法人	483	4,532
医療法人	3,422	14,921
学校法人	218	4,917
民間企業	676	3,824
その他の法人	580	5,340
個人	536	912
旧三公社	0	0
未記入	8	22
不明	0	0
自宅	0	12,561
合計	7,642	71,545

(発行日：令和7年4月3日)

令和6年度と過去5年度の入金会員数推移

所属都道府県技師会		令和元年度 (R2/3/31)	令和2年度 (R3/3/31)	令和3年度 (R4/3/31)	令和4年度 (R5/3/31)	令和5年度 (R6/3/31)	令和6年度 (R7/3/31)
01	北海道	3,227	3,235	3,274	3,315	3,345	3,344
02	青森県	632	636	636	641	642	633
03	岩手県	581	583	576	566	554	542
04	宮城県	1,126	1,133	1,141	1,142	1,157	1,191
05	秋田県	596	586	580	577	570	572
06	山形県	615	613	629	630	631	627
07	福島県	1,137	1,142	1,151	1,136	1,142	1,132
15	新潟県	1,387	1,373	1,377	1,390	1,392	1,397
99	日臨技	146	119	104	100	90	79
〔北日本支部〕		9,447	9,420	9,468	9,497	9,523	9,517
08	茨城県	1,296	1,314	1,340	1,374	1,391	1,401
09	栃木県	969	983	1,009	1,040	1,068	1,088
10	群馬県	1,069	1,097	1,110	1,127	1,157	1,153
11	埼玉県	3,183	3,253	3,371	3,501	3,618	3,698
19	山梨県	491	498	500	507	516	520
20	長野県	1,393	1,406	1,425	1,429	1,439	1,428
99	日臨技	499	436	400	353	339	315
〔関甲信支部〕		8,900	8,987	9,155	9,331	9,528	9,603
12	千葉県	2,242	2,332	2,413	2,481	2,531	2,588
13	東京都	6,451	6,599	6,903	7,177	7,456	7,609
14	神奈川県	3,492	3,566	3,691	3,797	3,866	3,913
99	日臨技	1,097	959	856	787	709	662
〔首都圏支部〕		13,282	13,456	13,863	14,242	14,562	14,772
16	富山県	568	571	581	595	594	597
17	石川県	724	725	723	728	740	754
21	岐阜県	895	900	939	982	993	1,005
22	静岡県	1,775	1,833	1,885	1,921	1,935	1,955
23	愛知県	3,460	3,524	3,630	3,728	3,799	3,953
24	三重県	704	721	746	766	786	787
99	日臨技	302	270	242	220	205	187
〔中部圏支部〕		8,428	8,544	8,746	8,940	9,052	9,238
18	福井県	390	390	407	414	420	408
25	滋賀県	599	624	659	667	687	700
26	京都府	1,202	1,229	1,238	1,314	1,328	1,359
27	大阪府	3,629	3,669	3,853	4,025	4,139	4,225
28	兵庫県	2,091	2,176	2,259	2,325	2,438	2,532
29	奈良県	634	656	679	693	698	722
30	和歌山県	378	389	396	415	430	433
99	日臨技	850	749	706	669	628	583
〔近畿支部〕		9,773	9,882	10,197	10,522	10,768	10,962
31	鳥取県	333	346	361	361	354	368
32	島根県	452	453	452	463	470	468
33	岡山県	1,443	1,434	1,475	1,485	1,519	1,526
34	広島県	1,862	1,866	1,877	1,905	1,900	1,904
35	山口県	809	817	843	854	852	838
36	徳島県	446	434	441	446	450	460
37	香川県	702	720	727	729	727	723
38	愛媛県	822	820	845	840	844	831
39	高知県	670	665	674	678	659	654
99	日臨技	182	140	120	105	96	91
〔中四国支部〕		7,721	7,695	7,815	7,866	7,871	7,863
40	福岡県	3,473	3,503	3,538	3,556	3,616	3,634
41	佐賀県	329	327	337	337	349	349
42	長崎県	884	898	915	924	921	933
43	熊本県	1,338	1,356	1,385	1,436	1,455	1,480
44	大分県	821	829	848	869	881	878
45	宮崎県	496	506	519	530	541	531
46	鹿児島県	692	708	735	751	754	761
47	沖縄県	853	856	849	874	890	897
99	日臨技	241	195	178	156	150	127
〔九州支部〕		9,127	9,178	9,304	9,433	9,557	9,590
98	その他（支部不明）						
99	日臨技（支部不明）	1					
〔支部不明〕		1	0	0	0	0	0
【合計】		66,679	67,162	68,548	69,831	70,861	71,545